

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	飛騨あさひイベント開催事業		担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	観光振興費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	対象者数	不特定多数
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・地域資源を最大に生かした観光イベントの開催により、住民とのふれあい、交流人口の増大を図ることが出来る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森水祭り(事業実施団体への負担金)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森水祭りの6イベント					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	イベント回数	回	目標値	6	6	6
				実績値	6	6	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果指標	交流人口	人	目標値	9,200	10,000	10,500
				実績値	6,479	7,362	-
				算出根拠等	達成率(%)	70	74
	成果指標	自己負担金	%	目標値	17.0	20.0	23.0
				実績値	18.0	23.1	-
				算出根拠等	達成率(%)	106	116
	成果指標	算出根拠等		目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
	成果指標	算出根拠等		目標値			
実績値							
達成率(%)							
補足事項							
・地域の風土を活かしたイベントとして住民の憩いの場、交流の場として賑わいを取り戻しつつある。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	12,500	10,099	9,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			12,500	10,099	9,000	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,929	1,372	1,200	
	受益者		(B)	6,479	7,362	7,500	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・四季折々の地域風土を活かしたイベントだけに住民の憩いの場・交流の場であり、体験型の内容については良い反響である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・伝統ある集客率の高いイベントを実施することにより、地域の活性化を図る上で市が参画することは妥当である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	集客数を更に増やす為、各種内容を工夫する必要がある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・限られたイベント負担金の中で必要最小限の経費で取り組んでいる。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・地域資源を活かした観光イベントの実施により、地域住民の意識の高揚は図られたが、自主開催事業に向けた事業内容にする課題がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	6 / 10	→	100点換算	60 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・来客者の関心が高まるような仕掛けづくり等、住民の意識高揚や経済効果が上がり地域の活性化がさらに図られるためには、具体的な取り組みを検討する必要がある。
---	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域主体の事業とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特定期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行い、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・合併前から実施している行事、イベントについては、観光イベント運営委員会、道の駅イベント運営委員会、水祭り運営委員会、飛騨あさひ旅館組合により今後の方向性について精査を行い、継続について十分検討する必要がある。
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・事業の必要性や効果を考慮しながら、自主開催へ向けた事業内容とする様に検討して行く。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・地域主体の事業とすべく、特定期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。					

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	ふるさと体験事業 (グリーン・ツーリズム推進)		担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	<input type="radio"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		<input type="radio"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		<input type="radio"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	観光振興費		<input type="radio"/> D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ・飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズム(自然に親しむ旅行)に加え 温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム(健康に良い旅行)、 自分だけの製品をつくるクラフトツーリズム(モノづくりの旅行)など、地元の 産業と一体となった新たな旅行スタイルを生み出します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	対象者数	不特定多数
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・都市住民との心の交流を通じてグリーン・ツーリズム活動を推進し地元産業の潤いと高齢者・女性等の生きがいづくりを図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業、東海雪合戦大会に向けた調査・研究・実施		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業、東海雪合戦大会					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	体験イベント回数	回	目標値	4	4	5
		算出根拠等		実績値	4	5	-
	成果指標	体験イベント参加者	人	目標値	500	700	2,500
		算出根拠等		実績値	635	2,572	-
				達成率(%)	127	367	-
		算出根拠等		目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
				達成率(%)			-
		算出根拠等		目標値			
				実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
・地元の産業と一体となった新たな旅行スタイルが出来つつある。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	0	0	
	財源内訳						
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源							
コスト指標		受益者1件当たり(円)	(A/B)				
		受益者	(B)				

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・集客の手段として自然環境を利用したグリーン・ツーリズムへのニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・グリーン・ツーリズム推進事業により、市民と行政が一体となり交流人口の拡大を図っており、地域の活性化を図る上で市が参画することは妥当である。 ・今後体験型交流事業を推進していくうえでは、幅広い民間関係者に参加していただけるよう検討する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・体験交流の利用人数は増加傾向にある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・必要最小限の経費で取り組んでおり、適正である。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・地元産業と一体となった、体験型交流事業が行われた。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・グリーン・ツーリズムにむけた取り組みの認知度は高まっているが、体験者の関心が高まるような更なる仕掛けづくり等、市を挙げた事業に発展させるために具体的な取り組みを検討する必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域主体の事業とすべく、補助金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小して行く必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域内外への紹介をインターネット・ブログ等を活用し、体験者の関心が高まるような仕掛けづくりを行う。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・事業の必要性や効果を考慮しながら、持続可能となるよう運営主体の強化を図る必要がある。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	95199	スズランカップJrクロスカントリー大会開催事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 体育総務費		D	その他事業	
	根拠計画	地域振興計画				
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び競技選手	対象者数	92,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	県内唯一のジュニア対象のクロスカントリー大会を開催し競技力向上と青少年の健全育成を目指す		
概要	事業の実施手法(手段)	期 日 平成25年2月2日曜日 会 場 鈴蘭高原クロスカントリーコース 部 門 小学生・中学生・高校生の部(男女) 内 容 クロスカントリースキー(フリー)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	期 日 平成25年2月10日(日) 会 場 鈴蘭高原クロスカントリーコース 参加者 小学生(男子15人・女子13人)中学生(男子11人・女子7人)高校生の部(男子13人・女子4人) 計63人 内 容 クロスカントリースキー(フリー)					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	スズランカップクロスカントリースキー大会の実施	回	目標値	1	1	1
		算出根拠等	年一回	実績値	1	1	-
	成果指標	参加者数	人	目標値	55	55	65
		算出根拠等		実績値	63	48	-
				達成率(%)	115	87	-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
				達成率(%)			-
			目標値				
	算出根拠等		実績値			-	
			達成率(%)			-	
			目標値				
	算出根拠等		実績値			-	
			達成率(%)			-	
	補足事項						
	・県内でジュニアの競技会が行われる唯一の大会であり、競技者の育成、競技力向上が図られている。						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 500	500	500		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		500	500	500		
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 7,937	10,417	9,091			
	受益者	大会参加者数	(B) 63	48	55		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・県内で開催される小学生から高校生までの大会は、当大会のみであり、関係者からのニーズは高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・実行委員会による実施となっているが、競技力向上、選手育成には競技団体が実施することが望ましい
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・県内唯一のジュニア対象の大会として、市内のみならず、県内、県外の選手の活躍の場となっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・同時期に当地で開催される大会との経費分担によりコスト縮小に取り組んでいる
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・地域の特徴を活かしたスポーツの推進により、競技力の向上と大会開催による地域の住民の大会運営協力により練の強化と活力の向上が図れている
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		8 / 10	→	100点換算 80 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)

・市内でも競技者数が少なく、全市民を対象とする大会ではない。
・地域活性化の施策として実施するため、地域の実行委員会による大会運営であるが競技団体の協力は欠かせない。今後競技団体が運営母体となり公認レースとなるよう回り、近県や全国から多くの参加の増加を図る必要がある。

(参考) H24事業評価結果(二次評価)

・特例期間終了を見据え、行政の関与を段階的に縮小する必要がある。
・各種効果について分析を行い、スポーツ大会誘致のあり方について検討する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・県外の競技団体へ大会参加の案内を行う。					
-----------------	----------------------	--	--	--	--	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	○	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・大会の規模を拡大し参加者の募集を広範囲に行い、宿泊者数の増加が見込める地域の特徴を活かした活性化に繋がる大会とする。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善		拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、スポーツ大会誘致のあり方について検討する必要がある。						

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3640
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	3	民生費		○	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	老人福祉費		D	その他事業	
根拠計画							
市長公約	医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	対象者数	9,677 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000
				実績値	9,796	9,584	-
				算出根拠等	達成率(%)	93	96
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139
				実績値	143	139	-
				算出根拠等	達成率(%)	95	97
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	40
				実績値	39	38	-
				算出根拠等	達成率(%)	91	95
	活動指標			目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	活動指標			目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	420	420	420	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			162	150	280	
	一般財源			258	270	140	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	781	653	640		
	受益者	(B)	538	643	656		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	高齢者が住み慣れた地域で、他の高齢者や住民と交流を持ちながら健康で日常生活を送るための活動として、市民の関心は高く、地域活動にも根付いているが、高齢者のニーズの多様化により加入率が低下している。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市は、老人福祉法(第十条の三第一項)の規定により、老人クラブなどの老人福祉を増進する目的とする事業を行う者の活動の連携及び調整、地域の実情に応じた体制整備に努めなければならないため。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	老人クラブ加入者は、年々減少傾向であるため、長寿会の組織の見直しや活動内容の充実に取り組んでいる。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	支所地域長寿会事務局の人件費補助として、最小限の経費である。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	長寿会活動に参加することにより、高齢者の健康増進と閉じこもり予防が図れた。また、高齢者に多い病気に対する理解を深めることができた。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)

新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。

(参考)
H24事業評価結果(二次評価)

・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/>	維持・改善	<input type="radio"/>	拡大	<input type="radio"/>	縮小	<input type="radio"/>	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定
	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。									

二次評価
(企画課・総務課・財政課評価)

・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業		担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3641
予算	会計	1	一般会計	特別 予算 の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7	土木費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	道路橋りょう総務費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域の住民	対象者数	1,838 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・未登記路線の整備		
概要	事業の実施手法(手段)	・市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・3路線9筆の調査(境界立会、相続関係)および多角測量を実施					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	所有権移転登記筆数	筆	目標値	21	28	20
		算出根拠等		実績値	0	0	-
	成果指標	登記延長	m	目標値	2,401	1,580	1,630
		算出根拠等		実績値	0	0	-
	成果指標	調査延長	m	目標値	2,401	1,580	1,630
		算出根拠等		実績値	2,401	1,580	-
	成果指標			目標値			
		算出根拠等		実績値			-
	成果指標			目標値			
		算出根拠等		実績値			-
	補足事項						
	コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
		歳出(千円)		(A)	3,143	307	5,000
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源			3,143	307	5,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,663	164	2,720	
	受益者		(B)	4/1現在の朝日地域住民	1,890	1,873	1,838

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・所有者個人の権利主張によるトラブルを防ぐために所有権登記処理が必要で、市民ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・道路用地の取得は市が行うものである。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	C	・相続問題の解消に手間取っている。 ・公図に対し現地との相違があり、境界が確定しない。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・市の登記業務委託単体で契約している。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・事業完了路線においては、所有者個人の権利主張によるトラブルを防ぐことができる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	5 / 10	→	100点換算	50 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・専門の課(係)を設立し重点的に事業を進める必要がある。 ・単価契約ではなく、各工程毎に積算をおこない、入札発注するのが望ましい。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・市全体の調整を、本庁担当課と行う。
-----------------	--------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	○	廃止の検討	H25完了予定
	・未登記の解消を遂行していくが、市全体の調整が必要であり、地域振興特別予算ではなく一般予算で対応すべきである。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	○	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。					

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3634
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	社会教育総務費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	個人・家庭・地域を大切に社会を築きます。 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域の住民	対象者数	1,838 人
	どうい状態にしたいのか(意図)	・花いっぱい運動に参加する町内会や、地域の社会教育団体など広く募集し、花苗を配布して、朝日地域の景観保全を図る。 ・花壇づくりを通して、地域の子供から高齢者まで一体となった交流の場とする。		
概要	事業の実施手法(手段)	花苗、チューリップの球根を購入し、希望する団体などに配布する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 指 標	H24の実績	・マリーゴールド (イエロー オレンジ ゴールデン フレーム スプレー ハーモニー) 各23TR ・チューリップの球根 (黄・赤・桃) 各1,250個					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	参加団体	算出根拠等	団体	目標値	21	21	20
				実績値	23	17	-
	算出根拠等	算出根拠等	達成率(%)	110	81	-	-
			目標値				
	算出根拠等	算出根拠等	実績値				-
			達成率(%)				-
	算出根拠等	算出根拠等	目標値				-
			実績値				-
	算出根拠等	算出根拠等	達成率(%)				-
			目標値				-
	算出根拠等	算出根拠等	実績値				-
			達成率(%)				-
	補足事項						
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 604	597	680		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		604	597	680		
コスト 指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 26,261	35,118	42,500		
	受益者	地域団体	(B) 23	17	16		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	合併以前から花苗の配布を実施している。参加団体はフラワーコンクールなどに、積極的に応募しており、ある程度のニーズがある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市で花苗を購入して、地区社教に協力を得て各地区、団体に配布している。事業主体を見直す必要はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	子供会の参加が減少したため、参加団体は目標値を下回った。町内会と町内の子供会それぞれの花壇を管理することが難しくなっている。しかし、町内会の参加については変動はない。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	前年の実績を踏まえ花苗・球根の数を見直し、育てやすい花苗に変更し、より効果的な事業となるよう取組んだ。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	総合計画では、四季の花々で彩られた親しみある地域個性の創出を目指しているため、その一貫として重要な事業になっており、朝日町内の景観保全に効果があった。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		7 / 10	→	100点換算 70 点

分析・評価で明らかになった課題 (FA)評価にするために何が必要なかを記入)

ニーズを理解し、花の種類や数を検討する。

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)

・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。
・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

参加団体の花苗等の希望数に合わせた発注数の調整と、色を三色に絞ってやすく扱いやすい品種に変更した。

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	町内会等の交流の場にもなる花壇づくりに、参加団体が積極的に取組める内容の見直しを図る、				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)

・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。
・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94699	ひだ朝日伝統文化祭助成事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3634
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 目	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6	文化振興費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町民)	対象者数	1,838 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	地域芸能・工芸を一同に集める発表会、展示会を行う文化祭の開催により、貴重な伝統文化・芸能を後世に継承し残すと共に、地域かんの住民の交流を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	「ひだ朝日伝統芸能文化祭」を秋季に開催する。 事業実施主体 朝日地区社会教育推進委員会		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	伝統芸能の発表と、伝統工芸の展示発表により、伝統文化への理解が深まった。					
	指標名						
		単位	目標・実績	H23	H24	H25	
	成果指標	来場者(参加者含む)	人	目標値	500	500	500
			実績値	500	500	-	
	算出根拠等	来場者集計	達成率(%)	100	100	-	
			目標値				
	算出根拠等		実績値			-	
			達成率(%)			-	
	算出根拠等		目標値				
実績値					-		
算出根拠等		達成率(%)			-		
		目標値					
算出根拠等		実績値			-		
		達成率(%)			-		
算出根拠等		目標値					
		実績値			-		
算出根拠等		達成率(%)			-		
		目標値					
算出根拠等		実績値			-		
		達成率(%)			-		
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 800	600	500		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		800	600	500		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 423	320	272		
	受益者 朝日町民(H25. 4. 1現在)		(B) 1,890	1,873	1,838		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	地域芸能・工芸の発表により、地域文化に触れる貴重な場となっており、盛況に開催されている。地域住民の交流の機会にもなっている。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	朝日地区社会教育推進委員会が補助金を申請し、効果的な事業を行っている。補助金を交付し、補助団体が事業を行う形から事業主体を見直す必要はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	成果の目標値を達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	補助金の減額を踏まえ、コスト面・事業内容を見直し、効果的・効率的な事業の開催に取組んだ。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	文化振興事業は市長の公約に位置づけられ、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上で効果がでている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	補助金の減額も踏まえ、事業規模の縮小や、コスト削減による見直し。
---------------------------------------	----------------------------------

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特例期間終了も見据え、全市的なバランスを考慮し縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	事業の目的を達成できるよう、事業規模や内容の見直し、コスト削減を行う。
-----------------	-------------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	補助金の減額も踏まえ、将来的に地区社教等が補助金に頼らず、事業を自主開催していける基礎作りが必要。参加者から参加費を徴収するなどのコスト面や事業内容の見直しが必要。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業費		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3634	
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	9	教育費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	6	文化振興費		D	その他事業		
根拠計画	地域振興計画							
市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町民)	対象者数	1,838 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	優れた芸術文化に接する機会を創出し、市民に心豊かな生活を営む場を提供し、魅力ある地域づくりを創出すると共に、地域の文化団体における自主事業開催のための基礎づくりを目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	講演会や演奏会など芸術鑑賞を開催する。 事業実施主体 朝日地区社会教育推進委員会		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	「ふれあいコンサート」バイオリン・ピアノ演奏 「中国民族音楽&津軽三味線コンサート」						
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	
	成果指標	来場者	来場者集計	人	目標値	300	300	300
				実績値	350	380	-	
	算出根拠等	来場者集計	達成率(%)		117	127	-	
			目標値					
	算出根拠等	来場者集計	実績値				-	
			達成率(%)				-	
	算出根拠等	来場者集計	目標値				-	
			実績値				-	
算出根拠等	来場者集計	達成率(%)				-		
		目標値				-		
算出根拠等	来場者集計	実績値				-		
		達成率(%)				-		
補足事項								
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額			
	歳出(千円)		(A)	1,600	1,500	1,400		
	財源内訳							
	受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)								
一般財源			1,600	1,500	1,400			
コスト指標		受益者1件当たり(円)	(A/B)	847	801	762		
受益者		朝日町民(H25. 4. 1現在)	(B)	1,890	1,873	1,838		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	他国の優れた音楽文化に触れる貴重な機会になり、市民の豊かな感性を育む場の提供ができた。例年、盛況に演奏会や講演会が開催されており、市民は楽しみにしている。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	朝日地区社会教育推進委員会が補助金を申請し、効果的な事業を行っている。補助金を交付し、補助団体が事業を行う形なら事業主体を見直す必要はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	目標値は達成している。市民が優れた芸術や文化に機会を創出するために、関係機関との連携を深め、有効な事業になっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	事業実施後に関係者による意見交換を行い、効果的・効率的な事業の開催に取組んでいる。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	文化振興事業は市長の公約に位置づけられ、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上で効果がでている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		8 / 10	→	100点換算 80 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)

より効率的・効果的な事業の開催のための見直し。

(参考) H24事業評価結果(二次評価)

・特例期間終了も見据え、全市的なバランスを考慮し縮小(廃止)を検討する必要がある。
・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	コストを削減しながら、効果的な事業の開催のために見直しを行う。				
-----------------	---------------------------------	--	--	--	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	実績や効果の検証を行い、効果的・効率的な事業を開催する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94799	市指定文化財保存事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3640
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7	文化財費		D	その他事業	
根拠計画	市指定文化財保存計画						
市長公約	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値がある有形無形の伝統文化や、文化財などの資源を保存活用する。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	天然記念物、有形文化財等は貴重な国民的財産であり、保護管理に努め後世に伝えていく大切な責務を持っている。説明板等を設置し、その重要性と意識啓蒙を図る。		
	事業の実施手法(手段)	・指定文化財石柱設置 ・説明看板設置		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・前年から事業を継承し、石柱を設置					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	石柱設置数	個	目標値	5	5	5
		算出根拠等		実績値	5	5	-
	成果指標	対象文化財に占める設置済み石柱の比率	%	目標値	100	100	100
		算出根拠等		実績値	63	77	-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
	補足事項						
	・石柱については、指定文化財のうち有形文化財等を対象として設置しており、継続事業として所有者(管理者)への認識が高まっている。 ・登山道の石仏発掘調査は朝日村時代より実施しており、公募等により広く周知され保護活動に取り組まれている						
	コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
歳出(千円)		(A)	938	918	1,000		
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源			938	918	1,000		
コスト指標		受益者1件当たり(円)	(A/B)	10	10	11	
		受益者	(B)	93,312	92,861	92,097	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・当事業による、文化財保護や継承に対する市民意識の向上を図る工夫が必要である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・文化財の保護と意識啓蒙を図る観点から、全市民的な遺産として捉え保存活用していくべきもの
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・継続事業として計画に沿った実績となっており、目標値は概ね達成されている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・石柱や看板の作成設置については入札で行い経費削減に取り組んでいる
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・歴史的、社会的に価値ある文化資源を再認識し、保存活用していくために必要である ・事業実施後の活用方法について検討する必要がある
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・保存及び活用を図るために実施する事業として定着しつつあるものの、文化財に対する意識の向上を図るうえでは、より多くの地元町民や市民を巻き込み関心が高まる仕掛けづくりを検討する必要がある ・石柱については対象文化財の損傷や盗難につながる恐れもあることから、設置の妥当性を検証する必要がある
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	石柱等説明看板の設置は年次計画に基づき実施しているが、その意義・目的を広く周知する必要がある
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	貴重な文化遺産として後世に継承していく責務から、その必要性や妥当性を考慮し継続事業として取り組んでいく
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	対象文化財の見直しを行い、有効利用が図られるよう検証を行う				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・平成26年度までに完了できるよう計画的にすすめる必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	95199	スポーツフェスタ助成事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3634
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	体育総務費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	該当なし						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域内市民対象	対象者数	1,838 人
概要	どういう状態にしたいのか(意図)	・余暇の時間増大により物質的充足感より心の豊かさなど精神的充足感が強く求められるようになり、日常生活に定着した活動により参加しやすい軽スポーツの大会を開催することにより地域の活性化につなげたい		
	事業の実施手法(手段)	市全体の行事として、軽スポーツを通じ生涯スポーツ活動のきっかけとする 期 日 10月上旬 会 場 朝日小グラウンド、体育館 対象者 朝日支所地域内の小学生から高齢者まで 内 容 グランドゴルフ、ダーツ、ベタンク、輪投げ、キックボリング、ストラックアウト、ウォークラリー等		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	期日:平成24年10月7日 会場:朝日小グラウンド、体育館 内容:ベタンク、ダーツ、グラウンドゴルフ、その他軽スポーツ 参加者:100名					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	スポーツフェスタの開催	回	目標値	1	1	1
				実績値	1	1	-
	成果指標	参加者数	人	目標値	150	150	150
				実績値	100	100	-
	コスト面	算出根拠等	年一回	達成率(%)	100	100	-
				算出根拠等	達成率(%)	67	67
		算出根拠等		目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		目標値			
実績値						-	
算出根拠等			目標値				
			実績値			-	
補足事項							
・子供から高齢者までが一緒に集い楽しみながら健康作り、地域の絆が築ける事業である							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 150	150	150		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		150	150	150		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 1,500	1,500	1,000		
	受益者	参加者数	(B) 100	100	150		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	C	・市民の生活形態、趣向性が多様化している中で、子供や若者の参加が少なくなりつつある ・無くても支障のない事業である
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	行政が行うべき市民のスポーツ推進、健康維持に必要な事業である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	C	・高齢者以外の成人市民や子供の休日の過ごし方にマッチしていない行事であり、参加者が高齢者に偏り成果指標の達成は順調ではない
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・不足する用具を他地域との連携により融通しあい、コスト削減に努めている
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・軽スポーツを通じて子供から高齢者までがふれあう事が出来る数少ない行事であるため地域の絆を高めるための重要性は高い
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	5 / 10	→	100点換算	50 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを必要とするかを記入)	・参加者が子供、高齢者が個人で参加できる種目が主体であるため、グループ、地域で参加できる種目を加え町内会で取り組める内容にする必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。					

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	61199	道の駅周辺整備事業	担当課	朝日支所 地域振興課	内線
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	1 商工費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	1 商工振興費		D	その他事業
根拠計画					
市長公約					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日支所地域住民	対象者数	1,838 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	(親子ふれあい公園整備事業を中止し、道の駅周辺整備事業を実施する) ・道の駅への集客増と地域住民の生きがいづくりの場とする ・利用者の安全を確保する		
概要	事業の実施手法(手段)	・道の駅のイベント広場をグラウンドゴルフ公認コース設置可能な多目的広場に改修する ・道の駅のちびっこ広場を移設する(安全確保、駐車場拡張)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	事業計画作成					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	グラウンドゴルフコース設置	件	目標値			1
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
	成果指標	利用者数	人	目標値			500
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			-
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			-
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
	補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	0	10,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源					10,000		
コスト 指標		受益者1件当たり(円)	(A/B)		5,441		
受益者		朝日町民(H25. 4. 1現在)	(B)		1,838		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価 対象 外	H25新規事業
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価 対象 外	H25新規事業
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価 対象 外	H25新規事業
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	評価 対象 外	H25新規事業
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	評価 対象 外	H25新規事業
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外	点
----	---	---	--------	-------	---

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	
-----------------	--

次年度の実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・グラウンドゴルフ場の宣伝を行い利用者の確保(誘客) ・道の駅のちびっこ広場を移設する(安全確保、駐車場拡張)				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62499	乗鞍・御岳登山道管理事業		担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工課		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	自然公園費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	来訪者(登山道)	対象者数	不特定多数
	どういう状態にしたいのか(意図)	来訪者が安全に自然に親しめるよう、乗鞍及び御岳の登山道の維持管理と環境整備を実施する。		
概要	事業の実施手法(手段)	業務委託により、下層植物について登山道の刈払い等を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	乗鞍青屋登山道 6km刈払い					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	委託業務回数	回	目標値	1	1	1
				実績値	1	1	-
		算出根拠等	年1回	達成率(%)	100	100	-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	補足事項						
登山ルートを区切り年次計画を立てて実施している。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 199	599	200		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		199	599	200		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)				
	受益者		(B)				

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	登山者からの安全・安心な通行に対してのニーズがある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	登山道の延長が長い為、維持保全管理を行うには市が参画することは妥当であるが、今後、地元関係者との取り組みについての検討が必要になる。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげている	B	地理や植生に精通した者でなければ安全且つ適正に作業が出来ない為、刈払い成果は上がっているが、延長が長い為、計画的に行う取組について検討する必要がある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	C	中級登山道であり、延長が長い為、経費の節約は難しい。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	登山道の刈払いにより、自然環境への配慮や環境整備が図られたが、継続性において課題がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	5 / 10	→	100点換算	50 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	登山道の延長が長く、継続的な刈払いの実施が困難になって来ているため、登山愛好者や地元関係者との協働により環境整備が行えるような取組みを検討する必要がある。
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、登山道整備の方針について検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	安全に自然に親しめるような環境整備を行うため、事前に調査し重要なポイントを業者に指示する。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	安全に自然に親しめるような環境整備を行うため、事前に調査し計画的な維持修繕を実施する。また、積極的なボランティアの募集を行う。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	95299	秋神まつり事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5	保健体育費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	体育施設費		D	その他事業	
根拠計画							
市長公約							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	対象者数	92,097
	どういう状態にしたいのか(意図)	アーチリー競技会場として、選手の利用に支障をきたさないように防矢ネットを整備する。		
概要	事業の実施手法(手段)	防矢ネットを設置し競技会場内外の安全を確保する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	なし					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	防矢ネット設置	件	目標値			1
				実績値			-
	成果指標	算出根拠等	土地賃貸借契約	達成率(%)			-
				利用者数	人	目標値	
				実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			-
				実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			-
				実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			-
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	0	800	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源					800	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)		8,000		
	受益者	利用者数	(B)		100		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	H25新規事業
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	H25新規事業
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外	点
----	---	---	--------	-------	---

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	秋神グラウンド内にアーチリー防矢ネットを設置する
-----------------	--------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	42299	食用油リサイクル事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3640
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 予算 の 目	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	4	衛生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	清掃費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	塵介処理費		O	その他事業	
根拠計画	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 環境保全に取り組めます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など環境改善につながる取り組みを支援します。						
市長公約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 環境保全に取り組めます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など環境改善につながる取り組みを支援します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	・回収(朝日、高根、国府町) ・使用車(公用車3台)	対象者数	92,097 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	使用済み食用油を回収、精製処理し、リサイクル燃料として使用することにより市民のリサイクル意識の向上を図るとともに、地球温暖化対策を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 一般家庭より排出される食用廃油を拠点施設において定期回収する 回収廃油は処理施設で精製し、公用車燃料として活用する 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 面	H24の実績	廃油の定期回収とBDF燃料の精製																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標 廃油回収量</td> <td rowspan="2">L</td> <td>目標値</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,760</td> <td>1,600</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td>70</td> <td>64</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標 燃料精製量</td> <td rowspan="2">L</td> <td>目標値</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2,000</td> <td>1,640</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td>80</td> <td>66</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標 燃料使用量</td> <td rowspan="2">L</td> <td>目標値</td> <td>2,500</td> <td>2,500</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2,000</td> <td>1,680</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td>80</td> <td>67</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標 廃油回収量	L	目標値	2,500	2,500	2,000	実績値	1,760	1,600	-	算出根拠等		達成率(%)	70	64	-	活動指標 燃料精製量	L	目標値	2,500	2,500	2,000	実績値	2,000	1,640	-	算出根拠等		達成率(%)	80	66	-	成果指標 燃料使用量	L	目標値	2,500	2,500	2,000	実績値	2,000	1,680	-	算出根拠等		達成率(%)	80	67	-			目標値						実績値				算出根拠等		達成率(%)						目標値						実績値				算出根拠等		達成率(%)			
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																										
	活動指標 廃油回収量	L	目標値	2,500	2,500	2,000																																																																																										
			実績値	1,760	1,600	-																																																																																										
	算出根拠等		達成率(%)	70	64	-																																																																																										
	活動指標 燃料精製量	L	目標値	2,500	2,500	2,000																																																																																										
			実績値	2,000	1,640	-																																																																																										
	算出根拠等		達成率(%)	80	66	-																																																																																										
	成果指標 燃料使用量	L	目標値	2,500	2,500	2,000																																																																																										
			実績値	2,000	1,680	-																																																																																										
	算出根拠等		達成率(%)	80	67	-																																																																																										
			目標値																																																																																													
			実績値																																																																																													
	算出根拠等		達成率(%)																																																																																													
		目標値																																																																																														
		実績値																																																																																														
算出根拠等		達成率(%)																																																																																														
補足事項																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)</th> <th>H23 決算額</th> <th>H24 決算額</th> <th>H25 予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出(千円)</td> <td>(A) 101</td> <td>179</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>受益者負担(使用料・負担金等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源(国・県支出金・起債等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>101</td> <td>179</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>受益者1件当たり(円)</td> <td>(A/B) 1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コスト指標 受益者</td> <td>(B) 93,822</td> <td>93,312</td> <td>92,097</td> </tr> </tbody> </table>						事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	歳出(千円)	(A) 101	179	220	受益者負担(使用料・負担金等)				その他特定財源(国・県支出金・起債等)				一般財源	101	179	220	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1	2	2	コスト指標 受益者	(B) 93,822	93,312	92,097																																																															
事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																													
歳出(千円)	(A) 101	179	220																																																																																													
受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																																
その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																																
一般財源	101	179	220																																																																																													
受益者1件当たり(円)	(A/B) 1	2	2																																																																																													
コスト指標 受益者	(B) 93,822	93,312	92,097																																																																																													

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	リサイクル等、環境保全への取り組みは重要な課題であるが、回収量が減少傾向にあり市民意識の向上を図る必要がある
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	精製燃料は公用車での使用に限定されており、安定した需要は見込まれないが現状民間による回収ルート等が確保されつつあり、検討が必要
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	一般家庭からの回収が減少しており、リサイクル意識の向上を図るとともに回収範囲等の拡大が必要
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	回収及び精製はシルバーへ委託し、月1回拠点集積所での回収と需要に応じた精製業務を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	精製燃料は公用車での使用に限定され、需要と供給の比率を考慮した事業展開が必要
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		6 / 10	→	100点換算 60 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	廃食油の分別回収と再資源化は地球温暖化防止対策や環境保全の一環とした取り組みであるが、精製燃料の利用方法と回収方法の検討を要す
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	回収及び精製は使用対象車両の燃料需要に伴った業務であり、燃料の使用期間や回収廃油の保存期間に限りがあることから今以上の需給は見込めない
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	一般家庭からの回収が低下していることから事業所等へ回収範囲を拡大しつつ事業継続していく
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	〇	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	精製機械の耐用年数を勘案しつつ、将来的な当該リサイクル事業の規模・方針について検証が必要である。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	〇	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。					

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	51399	モンキー犬活動支援事業		担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3631
予算	会計	1	一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	5	農業水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	農業費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	農業振興費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防獣事業を強化し、併せて駆除鳥獣の加工販売など活用方策について具体的に取り組みます					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域の市民	対象者数	533
	どういう状態にしたいのか(意図)	・モンキー犬出動を強化し、安心して暮らせる地域づくりを目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	・モンキー犬の活動に対する助成		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	モンキー犬7頭の計、271回の出動があった。					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	成果指標	モンキー犬出動回数	回	目標値	420	420	420
				実績値	223	271	-
		算出根拠等		達成率(%)	53	65	-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	210	210	180	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			210	210	180	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	394	394	338		
	受益者	朝日地域の市民	(B)	533	533	533	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・猿による農作物等の被害は年々増加傾向にあり、生活環境をも脅かされており、市民ニーズは急増している。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・類似の事業は、他にない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげている	C	・出動回数は少ない傾向にある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	C	・専門の訓練所以外にモンキー犬を育成する方法を検討中である。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・有害鳥獣対策における防獣事業の強化は、市長公約に位置付けられ、緊急の課題となっている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	6 / 10	→	100点換算	60 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・モンキー犬を地域内に平均的配置し実施効果を高めるため、モンキー犬のさらなる育成とともにハンドラーの後継者育成も重要である。
--	--

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	・鳥獣被害は深刻な問題であり、早急な対応が必要であるが、モンキー犬の効果が持続するかについて検討する必要がある。
-----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・連合町内会、及び農業改良組合長会等の場で、モンキー犬育成の啓発を図る。
-----------------	--------------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・ハンドラーの後継者育成と、モンキー犬をさらなる育成により、地域内に平均的にモンキー犬を配備し、事業実施効果を高める。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・補助金に頼らず自主的運営に向けた取り組みを進める必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	54199	地域生活道路環境保全事業(農道分)	担当課	朝日支所 基盤産業課	内線
種別					3631
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	5 農業水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	4 農業土木費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	1 農業土木総務費		O D	その他事業
根拠計画	地域振興計画				
市長公約					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農道利用者	対象者数	不特定多数
	どういった状態にしたいのか(意図)	・農道を安全かつ円滑に利用する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・広域営農団地農道の交通安全確保のための除草 W=1.0 m		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 面	H24の実績	広域営農団地農道の交通安全確保のための除草(A=5,800㎡)を行った。					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	成果 指標	除草面積	㎡	目標値	5,800	5,800	5,800
				実績値	5,800	5,800	-
		算出根拠等	要除草箇所	達成率(%)	100	100	-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
	補足事項						
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 378	378	400		
	財源内訳						
	一般財源		378	378	400		
コスト 指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)				
	受益者	農道利用者	(B)				

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・広域農道整備事業が全線未完成のため、現在のところ交通量が少ない。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・当該農道については、市が管理している。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・必要な除草を実施し、交通の安全を図っている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・シルバー人材センターに委託することにより、コスト削減が図られている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・シルバー人材センターに委託することにより、高齢者の就業機会の創出が図られている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・広域農道整備事業が全線完成すれば交通量がさらに多くなり、安全や景観保全を実施する必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・広域農道の除草については、地域や営農者による自主的な維持管理を求める必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・特に危険な箇所や景観の悪い場所を重点的に実施する。
-----------------	----------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・引き続き除草を行い、安全かつ円滑な通行利用を確保する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・農道の草刈りについては、地域や営農者による自主的な維持管理を求める必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62499	白樺原生林環境保全整備事業		担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工課		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	自然公園費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	来訪者	対象者数	不特定多数
	どういう状態にしたいのか(意図)	来訪者が安全に自然に親しめるよう、白樺原生林内歩道の維持管理と環境整備を実施する。		
概要	事業の実施手法(手段)	業務委託により、下層植物について歩道の刈払い等を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	隔年実施の為、無し					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	委託業務回数	回	目標値	1		1
				実績値	1		-
		算出根拠等	年1回	達成率(%)	100		-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
	補足事項						
登山ルートを区切り年次計画を立てて実施している。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	181	0	200	
	財源内訳						
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源			181	0	200		
コスト指標		受益者1件当たり(円)	(A/B)				
		受益者	(B)				

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	来訪者からの安全・安心な通行に対してのニーズがある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	南飛騨森林浴回廊21の癒しの道の為、維持保全管理を行うには市が参画することは妥当であるが、今後、地元関係者との取り組みについての検討が必要になる。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげている	B	去年より隔年の刈払いにした、この取り組みで計画的に行うことについて検討する必要がある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	C	隔年である為、経費の節約は難しい。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	歩道の刈払いにより、自然環境への配慮や環境整備が図られたが、継続性において課題がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	4 / 10	→	100点換算	40 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	歩道の継続的な刈払いの実施が困難になって来ているため、地元関係者の協働により環境整備が行えるような取組を検討する必要がある。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	安全に自然に親しめるような整備を行うため、事前に調査しポイントを業者に指示する。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	安全に自然に親しめるような整備を行うため、事前調査により隔年で実施しており、次年度の実施予定はない。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。					

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	72299	地域生活道路環境保全事業 (市道分)		担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3641	
予算	会計	1	一般会計	特別 予算 の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	7	土木費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	2	道路橋りょう維持費		D	その他事業		
根拠計画	地域振興計画							
市長公約								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民および道路通行者	対象者数	不特定多数
概要	どういう状態にしたいのか(意図)	・沿道景観を保持する(市道) ・「さくらロード」「もみじ街道」の景観保持および植樹帯の保護。(国・県道)		
	事業の実施手法(手段)	・町内沿道の清掃および草刈り		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・町内市道9路線L=26, 300mの沿道草刈り					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	沿道草刈り	回	目標値	1	1	1
		算出根拠等		実績値	1	1	-
	活動指標	草刈り面積	m ²	目標値	60,000	60,000	64,000
		算出根拠等		実績値	60,000	60,000	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
				目標値			
	算出根拠等			実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
	算出根拠等			実績値			-
			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	830	947	1,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			830	947	1,000	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	439	506	544	
	受益者		(B)	4/1現在の朝日地域住民	1,890	1,873	1,838

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・沿線の景観保全とドライバーの視野拡大。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市道沿線を保全するため。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげている	B	・年2回の草刈り実施が理想だが、予算的に達成できない。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・シルバー人材センターに委託することにより、コスト縮減が図られている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価 対象 外	・市長公約および総合計画がない。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・限られた予算の中では事業量に限界があり、地域住民にお願いするところが多いが、当該路線の多くは過疎・高齢化地域であり、住民に依頼するには無理がある。 ・緊急雇用創出事業の活用
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域の景観、環境を保全するために実施しているが、特例期間終了後は、全市的に実施路線を検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・特に危険な箇所や景観の悪い場所を重点的に実施する。
-----------------	----------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・現在1回しか実施できないが、年2回実施するのが望ましい。								

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。								

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	74699	公園用地購入事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	都市計画費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6	公園管理費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	10						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日町内の市民	対象者数	1,838 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	土地開発基金で取得した土地を買い戻す		
概要	事業の実施手法(手段)	土地開発基金で取得した土地を買い戻す		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績						
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	用地	㎡	目標値			2,058
		算出根拠等		実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			-
				実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			-
				実績値			-
			達成率(%)			-	
			目標値			-	
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	0	16,900	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源					16,900	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)		9,195		
	受益者	朝日町民(H25. 4. 1現在)	(B)		1,838		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	H25新規事業
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	H25新規事業
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外	点
----	---	---	--------	-------	---

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	うるし塚公園の土地買戻し
-----------------	--------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・他の土地開発基金用地についても計画的な買戻しが必要である。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	74699	美女ヶ池浄化・美化保全事業		担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3641	
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	7	土木費		○	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	都市計画費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	6	公園管理費		D	その他事業		
根拠計画	地域振興計画							
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを維持可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	来場者	対象者数	12,000 人
概要	どのような状態にしたいのか(意図)	・水生植物や草花を植生し、池の水の浄化や池周辺の景観美化を図り、合併記念公園にふさわしい美女ヶ池の姿を再生する。		
	事業の実施手法(手段)	・浄化植物植栽 ・美化植物植栽		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 面	H24の実績	・美化植物68㎡植栽 ・樹木70本植栽					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動 指標	浄化・美化植物植栽面積	㎡	目標値	89	68	70
				実績値	89	68	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	活動 指標	樹木植栽本数	本	目標値		70	70
				実績値		70	-
				算出根拠等	達成率(%)		100
	成果 指標	利用者数	人	目標値	11,000	12,000	13,000
				実績値	8,500	11,277	-
				算出根拠等	達成率(%)	77	94
				目標値			
				実績値			-
				算出根拠等	達成率(%)		
				目標値			
実績値						-	
算出根拠等				達成率(%)			-
補足事項							
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	1,140	1,180	500	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			1,140	1,180	500	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	134	105	38		
	受益者	来場者数	(B)	8,500	11,277	13,000	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・美女高原の自然資源を守るための事業であり、市民のニーズは高い。	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市が指定する合併記念公園である。	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・平成23年度に新規採用した事業であり、美化に対しては成果があがっているが、浄化に対しては成果があがるまでに時間を要する。	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	評価 対象 外	・コストの妥当なラインが不明である。	
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	A	・観光資源の保全・保持に努めた。	
		B (1) ある程度効果があつた			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 8	→	100点換算	88 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)

・浄化については成果が出るまでに時間がかかるため、現時点では検証できない。

(参考)
H24事業評価結果(二次評価)

・事業の継続については、事業効果を精査し実施する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

・事業実施結果を継続的に観察し、今後の対応方針を定める。

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/>	維持・改善	<input type="radio"/>	拡大	<input type="radio"/>	縮小	<input type="radio"/>	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定
	・周辺全体に美化植物を植栽するには、成果を見ながら毎年行う必要がある。 ・浄化植物は池の浄化を図るために植栽するものであり、汚濁が解消するまで行う必要がある。									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/>	維持・改善	<input type="radio"/>	拡大	<input type="radio"/>	縮小	<input type="radio"/>	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定
	・事業の継続については、事業効果を検証し、検討する必要がある。									

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94799	旧江戸街道保全事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3640
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7	文化財費		D	その他事業	
根拠計画	市指定文化財保存計画						
市長公約	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値がある有形無形の伝統文化や、文化財などの資源を保存活用する。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	江戸街道は江戸時代、旅人や貨物輸送の主要な街道であった。この歴史的な街道から地域の豊かな自然、歴史や文化に触れ、自然保護及び地域資源を守るために街道保全を行う		
概要	事業の実施手法(手段)	街道修復・草刈等の維持管理		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	前年から事業を継承した歩道の修繕 ・歩道の草刈、伐開					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	草刈修繕	m	目標値	3,750	1,000	100
				実績値	3,750	1,000	-
	成果指標	算出根拠等	m	達成率(%)	100	100	-
				目標値	100	25	-
	成果指標	歩道修繕	m	実績値	40	25	-
				達成率(%)	40	100	-
	成果指標	算出根拠等	m	目標値			-
				実績値			-
成果指標	算出根拠等	m	達成率(%)			-	
			目標値			-	
成果指標	算出根拠等	m	実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
江戸街道は時代によって呼び方が違い、ブリ街道とも云われる。その昔、富山県より当地を中継し長野県へ運ばれたことから、当町では「ブリ街道祭り」を例年開催しており、街道への認識は高い。							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 944	462	100		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源		944	462	100		
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 10	5	1		
コスト指標	受益者		(B) 93,312	92,861	92,097		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・古道を含めた文化遺産の修復や維持管理に対する市民意識の向上につながっている ・地域固有の歴史文化を守り継承していく活動として地域に根付いている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・文化財の保護と意識啓蒙を図る観点から、全市的な遺産として捉え保存活用していくべきもの
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・当事業により街道の復元も進んでおり、今後も継続して実施していく必要がある
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・地域資源保護と認識の観点から、地元業者の選定及び入札により経費削減に取り組んでいる
		B (1) 事業効率化・コスト縮減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・歴史的、社会的に価値ある文化資源を再認識し、保存活用していくために必要である ・事業実施後の活用方法について検討する必要がある
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	街道は広域に及ぶ歴史遺産であり、整備するエリアを拡大するとともに近隣地域が連携し相互に保存活用に取り組む必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	整備対象とするエリアは当地域に2箇所存在し、当該年度はその内1箇所を整備した。いずれも山林地を通ることから継続した整備事業として実施できた
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	文化・歴史遺産は重要な地域資源であり、街道は往時を偲ぶことのできる有形の文化財である。荒廃化を防止するためにも継続事業として取り組んでいく
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	整備箇所の検証を行うとともに、市民に対する整備保存の意義や利活用を図る必要がある。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610	
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	9	企画費		D	その他事業		
根拠計画								
市長公約	4	個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別予算を全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域の団体	対象者数	1,838
	どういった状態にしたいのか(意図)	市民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進する。		
概要	事業の実施手法(手段)	市民自らが主体となって取り組む地域振興事業に対して補助金を交付する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・町内会 17件 2320千円 ・団体等 1件 680千円					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	申請件数	件	目標値	25	25	25
		算出根拠等	申請件数	実績値	18	26	-
	活動指標	補助件数	件	目標値	25	25	25
		算出根拠等	補助件数	実績値	18	26	-
	算出根拠等	申請件数		達成率(%)	72	104	-
		補助件数		達成率(%)	72	104	-
	算出根拠等	申請件数		目標値			
		補助件数		実績値			-
	算出根拠等	申請件数		達成率(%)			-
		補助件数		達成率(%)			-
	算出根拠等	申請件数		目標値			
		補助件数		実績値			-
	算出根拠等	申請件数		達成率(%)			-
補助件数			達成率(%)			-	
補足事項							
・地域の住環境を市民自らの手で維持、改善していくための活動補助として予算ベースで100%の達成率である。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 3,000	3,306	3,500		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		3,000	3,306	3,500		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 1,587	1,765	1,904		
	受益者 朝日町民(H25. 4. 1現在)		(B) 1,890	1,873	1,838		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	地域の市民の手による住環境整備、文化保存に対する要望は非常に多い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	林道の維持管理は本来市が行うべきであるが、地域住民の手による修繕事業が多い。国道、県道の環境整備については、県の事業を取り入れるべきである
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	地域の市民の自主的な手法により、地域の環境を維持していくための、活動となっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	地域が計画した予算の内容を市の基準に合わせて精査し、改善に取り組んでいる
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	地域住民が自らの地域を改善、振興により住みよいまちづくり活動の支援事業として地域に定着している
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・市や地域が管理すべき施設以外の県、国の施設については対応する県の事業を取り入れて、市の負担すべきコストを見直す必要がある。ただし地域の事務的負担が大きくなる。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域で行うべき事業とそうでないものを精査し、地域環境の維持に必要なコストを適正化する。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・27年度以降の対応方法を検討する。 ・当事業が26年度で終了することから、効率的な予算執行を図る。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業		担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3610	
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	9	企画費		D	その他事業		
根拠計画								
市長公約	4	個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別予算を 全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域の団体	対象者数	1,838
	どういった状態にしたいのか(意図)	地域の要望に対応し住みよい環境に整える		
概要	事業の実施手法(手段)	地域の要望によりきめ細かな施設修繕事業を行う		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 指 標	H24の実績	5件 3,499千円					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	事業実施した数	算出根拠等	件	目標値	5	20	20
				実績値	5	17	-
				達成率(%)	100	85	-
	算出根拠等	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等	算出根拠等		目標値			
実績値						-	
達成率(%)						-	
補足事項							
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 3,499	13,997	6,200		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		3,499	13,997	6,200		
コスト 指 標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 1,851	7,473	3,373		
	受益者 朝日町民(H25. 4. 1現在)		(B) 1,890	1,873	1,838		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり事業としてニーズは高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市が管理すべき施設の修繕である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり事業として充分達成している
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	最小の費用で最大の効果を上げるよう取り組んでいる
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくりの政策として重要性は高い
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	10 / 10	→	100点換算	100 点
----	---------	---	--------	-------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域の要望に迅速にきめ細かく対応できる事業であるため、速やかな実施を行う。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・地域の要望に迅速にきめ細かく対応できる事業であるため、速やかな実施を行う。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	土地借上料		担当課	朝日支所 地域振興課		内線
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款			○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目			D	その他事業	
根拠計画						
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び競技関係者	対象者数	不特定多数
	どういう状態にしたいのか(意図)	施設用地借上		
概要	事業の実施手法(手段)	市の基準単価を上回る土地賃貸借		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績						
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	施設用地		目標値	28,454	28,454	28,454
				実績値	28,454	28,454	-
	算出根拠等	土地賃貸借契約		達成率(%)	100	100	-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 910	898	881		
	受益者負担(使用料・負担金等)				120		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				761		
	一般財源		910	898	761		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)				
	受益者		(B)				

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市有の施設として維持管理
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	市の基準となるよう、地権者と交渉中である
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		3 / 4	→	100点換算 75 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入) ・市の基準を上回っているため単価交渉をする必要がある。

(参考) H24事業評価結果(二次評価) ・市の基準に近づこう単価交渉を継続する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況 ・市の基準を上回っているため単価交渉をする必要がある。

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・市の基準に近づけるよう単価交渉をする。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)					